

令和4年度 北海道芦別高等学校 学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1) 主体的、対話的で深い学びの実践など、指導方法の工夫改善によりバランスの取れた学力を育む。
- (2) 進路目標をもたせ、その実現に向けて積極的に取り組む態度を育む。
- (3) 成年・大人としての規範意識、公共の精神を身に付けさせるとともに、生命に対する畏敬の念や望ましい勤労観、職業観を育む。
- (4) 感染症予防をはじめ、心身の健康の保持増進に努めるとともに、自他の健康安全に貢献できる態度を育む。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程 学習指導	生徒の個々に応じた学習指導に努めた。さらに基礎や基本の定着に向けて指導方法や評価方法を検討し、授業改善を進めていく必要がある。 自習室の活用や、放課後学習会の取組により、学習習慣の定着を図った。	生徒一人ひとりに目を向け、役割と出番を設け、おのおのがその責任を果たす中で、「成功体験」を積み重ねていけるように、引き続き、生徒に寄り添った教育活動を進めてほしい。
改善方策	①目指す生徒像に基づき、各教育活動の目的の明確化を図り、よりよい教育課程の編成を進め、観点別評価を中心とした学習評価の充実を図る。 ②教科、分掌、学年と連携し、自習室や放課後学習の時間を活用し、学習習慣の定着と個の能力に応じた学習支援体制を充実する。 ③学習指導力の向上を目指し、校内研修会及び教科研修を推進し、評価や指導方法を検証し、授業改善に努める。	
生徒指導 特別活動	規範意識の醸成や基本的な生活習慣の定着に向けた指導の工夫が必要となっている。HR活動、授業、教育相談等で、命の大切さ、多様性の尊重、他者を思いやる心等生徒の心に訴えかける取組が必要である。コロナ禍の中ではあったが、当初計画した行事等を工夫し、概ね実施した。	規範意識の醸成や基本的な生活習慣の定着に向けて、今後も継続して指導してほしい。 SNSを使用したいじめの対応が課題であるが、思いやりの気持ちを醸成させる取り組みをお願いしたい。 来年度は、ぜひ保護者や地域の方に教育活動を見せる機会をつくり、芦別高校の教育活動の内容が伝わるよう進めてほしい。
改善方策	①全教員による一致した指導体制をさらに推進する。 ②保護者や地域からの声に対応し、情報発信に一層取り組み、地域や小・中学生に対して、本校の教育活動の理解に努める。 ③いじめアンケートの実施及びきめ細やかな面談や生徒理解ツール「ほっと」の活用等から生徒の実態を把握し、いじめ等にも迅速に対応できる校内体制の充実を図る。	
進路指導 キャリア教育	生徒一人一人の進路目標に応じた計画的で継続的な指導に努めた。 進学・就職について本年度も進路決定率100%を達成できた。今後も生徒の進路実現に向け、校内における進路指導の充実を図り、地域の企業や関係機関等との連携を密にし、キャリア教育を進める。	インターンシップ及び外部講師等による進路講話や模擬面接等を通じて、進路目標につながる取組を推進してほしい。
改善方策	①生徒の実態に即したガイダンスや進路相談を充実させ、進路シラバスや手引を作成し、生徒の個に応じた支援・指導を実施し、より系統的な進路指導に努める。 ②体験的な学習や総合的な探究の時間を通じて勤労観や職業観の育成を図る。 ③地域の教育力を積極的に活用するとともに、地域の企業や関係機関、職業安定所との緊密な連携を図る。また、企業ニーズや卒業後の就業状況の把握などの調査を継続し、早期離職対策の方策を検討する。	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
組織運営	<p>部長主任会議による連絡調整を徹底し、分掌を中心とした組織体制の確立を図った。引き続き、働き方改革を意識し、業務の見直しや効率化を図り、組織運営に努める。</p>	<p>・3年間の学生生活を経験して「芦高に入学して良かった。夢を叶えることができた」と卒業生が語るができるよう、地道ですが今まで以上に忍耐と愛情をもって生徒達に接することを願いたい。</p>
改善方策	<p>①目的の明確化・方針の共有化を進め、業務の見直しや効率化を図る。また、時間外勤務の縮減に努め、教職員の心身の健康保持増進を図る。 ②外部の声を積極的に取り入れて、魅力ある学校づくりを一層推進する。 ③各種マニュアルやいじめ防止基本方針を継続的に検証し、学校全体の危機管理体制の一層の充実を図る。 ④半期ごとの評価会議を実施し、学校課題と解決の方策を共有する。</p>	
保護者、地域住民との連携	<p>コロナ禍の影響で、例年本校の生徒が参加していた地域行事やイベント、ボランティア活動に参加できなかった。次年度は感染状況をふまえ、感染対策を講じて参加できる行事やボランティアに参加させていきたい。</p> <p>交通安全教室、薬物乱用防止教室、防犯教室等、警察署と連携した防犯活動に取り組んだ。</p> <p>地域学の学習や模擬面接等で地域の方と触れ合う機会を作ることで、地域の良さや課題等に気付くことができ、また、進路試験等に向けた学習の機会となった。</p>	<p>「高校生カフェ」の取組は、地域住民の方々に良い影響があり、高校生の頑張っている姿が今後の芦別高校への希望者へ繋がっていく可能性があるのも、「高校生カフェ」のような活動を次年度以降も継続していくことを願いたい。また、小学生への学習ボランティア等、連携も広がりつつあるので、今後の取組に期待したい。</p> <p>ホームページについて、日誌が行事ごとによく更新されているが、それ以外の部分が更新されていないようなので、SNS等を活用し、生徒自身が楽しみながらより活発な情報発信をするなどの取組を検討し、より一層広報活動をし、魅力ある芦高づくりを今後も願いたい。</p>
改善方策	<p>①PDCA マネジメントに基づいた学校改善を進めるとともに、学校評価の内容について職員や保護者・地域に情報発信を行う。 ②学校評議員会での聴取意見を職員に提示し、保護者や地域のニーズを意識させ教育活動に反映させる。 ③地域の小中学校や関係機関等との連携を緊密にし、本校の取組の情報発信の質と量の充実を図る。 ④地域の教育資源を積極的に活用し、学校の教育力の向上を図る。 ⑤令和6年度学校運営協議会の設置し、より一層の充実を図る。</p>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会などで保護者に公表 ・学校ウェブページでの公表 ・学校評議員会で公表 	

- 3 添付資料
- (1) 令和4年度学校評議員学校評価アンケート（学校関係者評価書）
 - (2) 令和4年度学校評価（自己評価）集計〔令和4年度自己評価書〕
 - (3) 令和4年度保護者アンケート集計結果〔保護者による学校評価書〕